

東京女子大学学則

(1948年3月25日制定)

改正	1950年 3月 1日	1992年 1月17日	2002年 2月21日	2010年 1月21日	2019年 2月21日
	1951年 1月31日	1992年 2月21日	2002年 3月11日	2010年 1月25日	2019年 3月14日
	1954年 2月15日	1992年10月15日	2002年 5月16日	2011年 1月20日	2020年 1月16日
	1958年 2月28日	1992年11月19日	2003年 1月16日	2011年 4月21日	2020年 6月18日
	1961年 3月10日	1993年 2月23日	2003年 4月17日	2011年12月15日	2021年 4月15日
	1965年 9月15日	1993年12月21日	2003年 7月31日	2012年 3月26日	2022年 2月17日
	1971年 1月29日	1994年 2月17日	2003年10月16日	2012年 9月20日	2023年 3月10日
	1975年11月28日	1995年 2月16日	2003年12月18日	2012年12月20日	2023年 4月20日
	1985年 2月22日	1995年12月14日	2004年 7月15日	2013年 9月19日	2024年 2月15日
	1985年 3月29日	1996年 2月29日	2004年11月18日	2014年 1月16日	2024年 3月14日
	1986年 5月30日	1996年12月19日	2005年 3月10日	2014年 7月17日	2024年 4月18日
	1987年 1月30日	1997年 1月23日	2005年 7月21日	2015年 1月15日	
	1987年 4月 1日	1997年12月18日	2005年12月15日	2016年 1月21日	
	1988年 1月29日	1998年12月17日	2006年12月21日	2016年 2月18日	
	1989年 3月24日	1999年12月22日	2007年 3月16日	2016年 4月21日	
	1989年 7月21日	2000年 1月20日	2007年12月20日	2016年 9月15日	
	1989年 9月22日	2000年 3月21日	2008年 2月21日	2016年12月15日	
	1990年 3月16日	2001年 1月25日	2008年12月24日	2017年 2月16日	
	1990年 7月20日	2001年 2月22日	2009年 1月15日	2017年 3月 9日	
	1991年 3月15日	2002年 1月24日	2009年 2月19日	2017年12月21日	

第1章 目的

第1条 東京女子大学（以下「本学」という。）は、キリスト教を教育の根本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教養を授け、専門の学術を教授研究し、もって真理と平和を愛し人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

第1条の2 本学は、前条の目的を達成するために、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価項目、実施体制、実施方法等に関する規程は、別に定める。

第2章 綱領

第2条 本学は、その教育の基礎として、キリスト教に関する科目を設け、また宗教的行事を行う。

第3章 学部及び大学院

第3条 本学に現代教養学部を置く。

2 現代教養学部は、広い識見と創造性を有し、専門性をもつ教養人として、現代社会の多様な課題を主体的に解決しうる人物の育成を目的とする。

第3条の2 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は、別に定める。

第4条 現代教養学部は、人文学科、国際社会学科、経済経営学科、心理学科、社会コミュニケーション学科及び情報数理科学科を置く。

2 人文学科に哲学専攻、日本文学文化専攻、英語圏文化専攻及び歴史文化専攻を置く。

人文学科は、哲学、言語、文学、歴史を横断的に学ぶことを通して、人間の文化的営為についての能動的な知識と多角的な見識を修め、考究の姿勢、応用能力を社会のあらゆる分野に生かし、人間文化の創造と社会の発展に貢献できる人物の育成を目的とする。

3 国際社会学科は、国際関係、地域研究、文化人類学を横断的に学ぶことを通して、自分で考え、判断し、人を説得できる力・他文化と共生する力を身につけ、事実よりも感情が影響力を持つ、ポスト・トゥルースの風潮に惑わされない、国際社会で活躍できる人物の育成を目的とする。

- 4 経済経営学科は、経済学、経営学、地域デザインを横断的に学ぶことを通して、理論と実践の双方から多様な視点と論理的思考を育み、企業、行政、地域等において社会課題に対する戦略的な解決策を自ら提案し担っていくことができる人物の育成を目的とする。
- 5 心理学科は、認知心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学を学ぶことを通して、物事を多角的に理解する力や、人間・社会の多様な問題に対する分析能力、課題解決能力を養い、現代社会に生きる人間の心の諸問題を解決できる人物の育成を目的とする。
- 6 社会コミュニケーション学科は、社会学、メディア情報、共生社会を横断した学びを通して、既存の枠組みに縛られない柔軟な思考力を持ち、多様な情報の山から重要なものを取捨選択するとともに自らが価値ある情報を発信する能力を身に付け、よりよい共生の構築や社会課題の解決に貢献できる人物の育成を目的とする。
- 7 情報数理科学科に、情報数理科学専攻を置く。
- 情報数理科学科は、理系学問の基礎となる数学の修得を基に、数学、情報科学、A I ・データサイエンス、応用数理学の分野を横断的に学ぶことを通して、数理科学的知識と柔軟な論理的思考力及び技術をもって社会と科学技術の発展に寄与できる人物の育成を目的とする。

第5条 学部及び学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
現 代 教 養 学 部	人 文 学 科	220 名	880 名
	国 際 社 会 学 科	120 名	480 名
	経 済 経 営 学 科	155 名	620 名
	心 理 学 科	80 名	320 名
	社会コミュニケーション学科	145 名	580 名
	情 報 数 理 科 学 科	70 名	280 名
総 計		790 名	3,160 名

第4章 教職員及び会議

第6条 本学に学長を置く。

- 2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

第6条の2 本学に副学長を置くことができる。

- 2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

第6条の3 学部に学部長を置く。

- 2 学部長は、学長を助け、学部の校務をつかさどる。

第7条 本学に、一定数の教授、准教授、講師及び助教を置く。

第7条の2 本学に、教育研究の円滑な実施に必要な業務を行うため助手を置く。

第7条の3 本学に、事務遂行のため一定数の職員を置く。

第8条 本学の教学にかかわる全学的に重要な事項を審議するため大学評議会を置く。

- 2 大学評議会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長（副学長を置く場合）
- (3) 学部長
- (4) 全学共通教育部長
- (5) 大学院合同研究科会議議長
- (6) 図書館長
- (7) 大学宗教委員長
- (8) 比較文化研究所長
- (9) 女性学研究所長
- (10) 将来計画推進委員会副委員長
- (11) 自己点検・評価委員長

- (12) 教授会の選出に基づき、学長が委嘱する教授 2 名
- (13) 学長が選任する教授 2 名
- (14) 事務局長
- 3 大学評議会は、次に掲げる事項について学長が理事会に建議するに当たり審議し、意見を述べるものとする。
 - (1) 東京女子大学学則（以下「学則」という。）及び東京女子大学大学院学則その他重要な規則の制定並びに改廃に関する事項
 - (2) 教育研究に関する事業計画にかかわる事項
 - (3) 学部、学科及び専攻並びに大学院研究科及び専攻の設置及び廃止に関する事項
 - (4) 教員組織の編成方針並びに教員の採用及び昇任に関する教育研究業績の審査にかかわる事項
 - (5) 大学の教育研究に関する長期展望にかかわる事項
 - (6) 前 5 号に掲げる事項のほか、教育研究に関する重要な事項で、大学評議会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
- 4 大学評議会は、学長が次の事項について決定するに当たり審議し、意見を述べるものとする。
 - (1) 教育課程の編成方針に関する事項
 - (2) 学生の厚生補導の基本方針
 - (3) その他学部及び大学院に共通する教育研究に関する重要事項及び学長の諮問する事項

第 8 条の 2 学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、教授、准教授及び講師をもって組織する。
- 3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議し、意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業に関する事項
 - (2) 学位の授与に関する事項
 - (3) 前 2 号に掲げる事項のほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長又は学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長又は学部長の求めに応じ、意見を述べるができる。

第 5 章 教育課程及び卒業の要件

第 9 条 授業科目を分けて、次のとおりとする。

カリ 学 共 通 ユ ラ ム	リベラル・スタディーズ	(1) 知のかけはし科目
		(2) 女性の生きる力科目
		(3) キリスト教学科目
	グローバル・シティズンシップ・スタディーズ	(4) Global Citizenship Program科目
		(5) 第一外国語科目
		(6) 第二外国語科目
		(7) ギリシア語・ラテン語科目
	AI・データサイエンス・スタディーズ	(8) AI・データサイエンス科目
(9) 学科科目		
(10) 教職課程科目		
(11) 学芸員課程科目		

- 2 授業科目及びその単位数は別表第 1 のとおりとする。

第9条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、文部科学大臣が別に定めるところにより、前条の授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項の授業の方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち、60単位を超えないものとする。

第10条 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

第10条の2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い期間において授業を行うことができる。

第11条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、授業科目により、15時間の授業をもって1単位とすることができる。

(3) 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。

(4) 外国語科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

2 一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前項各号に規定する基準により算定した時間の授業をもって1単位とする。

3 卒業論文、教育実習等については、別に定める基準による。

第11条の2 修業年限は4年とし、在学年限は、休学期間を除き8年とする。

2 第30条の規定により2年次に編入学又は学士入学した者の修業年限は3年とし、在学年限は、休学期間を除き6年とする。

3 第30条の規定により3年次に編入学又は学士入学した者の修業年限は2年とし、在学年限は、休学期間を除き4年とする。

第12条 修得すべき授業科目と単位数は、次のとおりとする。

全学共通カリキュラム	リベラル・スタディーズ	知のかけはし科目	選択必修科目	8単位
		女性の生きる力科目	必修科目	1単位
		キリスト教学科目	必修科目	4単位
	グローバル・シティズンシップ・スタディーズ	第一外国語科目	必修科目	10単位
		第二外国語科目	選択必修科目	3単位
	AI・データサイエンス・スタディーズ	AI・データサイエンス科目	必修科目	4単位
学科科目(自学科)		必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて		
		人文学科		60単位
		国際社会科学科		60単位
		経済経営学科		60単位
		心理学科		60単位
		社会コミュニケーション学科		60単位
		情報数理科学科		68単位

学科科目（他学科）	人 文 学 科	10 単位
	国 際 社 会 学 科	10 単位
	経 済 経 営 学 科	10 単位
	心 理 学 科	10 単位
	社会コミュニケーション学科	10 単位
	情 報 数 理 科 学 科	10 単位
自由選択科目	人 文 学 科	24 単位
	国 際 社 会 学 科	24 単位
	経 済 経 営 学 科	24 単位
	心 理 学 科	24 単位
	社会コミュニケーション学科	24 単位
	情 報 数 理 科 学 科	16 単位
総 計		124 単位

2 外国人正規課程留学生在が修得すべき授業科目と単位数は、別に定める。

第13条 学生は、毎年所定期間内に履修しようとする授業科目を登録しなければならない。

2 1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、原則として40単位とする。

第14条 単位の認定は、試験による。

2 授業科目を履修し、試験に合格した者には、単位を与える。

3 試験の種類は、定期試験及び定期試験以外の方法（レポート、授業時に行う随時の試験等）とする。ただし、卒業論文の試験方法は、論文審査及び口述試験による。

4 第32条に定める学費を未納の者は、前項に定める試験を受けること及び卒業論文を提出することができない。ただし、やむをえない事情により延納又は分納の手続を行った場合はこの限りではない。

第15条 授業科目の成績評価は、S、A、B、C、Fの5段階で表し、S、A、B、Cを合格、Fを不合格とする。

第15条の2 本学が教育上有益と認めたときは、他の大学等において修得した次の単位等について、合わせて60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

(1) 本学と日本国内外の他の大学との協定に基づき、当該大学において履修した授業科目の単位

(2) 第27条の2により、外国の大学において履修した授業科目の単位

(3) 本学が外国の大学とあらかじめ協議の上当該大学において実施する語学研修及び教養講座における学修、並びに本学があらかじめ認めた外国の大学が実施する語学研修における学修

(4) 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において履修した授業科目の単位

(5) 文部科学大臣が別に定める技能審査等における成果に係る学修で、本学が大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

第16条 4年以上在学して所定科目につき124単位以上を修得した者に、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して卒業を認定し、学士の学位を授与する。

第17条 現代教養学部の人文学科、国際社会学科、経済経営学科、心理学科及び社会コミュニケーション学科を卒業した者に学士（教養）、情報数理科学科を卒業した者に学士（理学）の学位を授与する。

第17条の2 教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 教育職員免許状授与資格を取得させるための課程として認定を受けた学科並びに免許状の種

類及び教科は、次のとおりとする。

	免許状の種類	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
学 科	人文学科	宗 教 国 語 外国語（英語） 社 会	宗 教 国 語 外国語（英語） 地理歴史 公 民
	国際社会学科	社 会	地理歴史 公 民
	情報数理科学科	数 学	数 学 情 報

第17条の3 学芸員の資格を取得しようとする者は、学芸員資格取得のために必要な授業科目の単位を修得しなければならない。

2 学芸員資格取得のために必要な授業科目及びその単位数は、別に定める。

第17条の4 本学に日本語教員養成課程を置く。

2 日本語教員養成課程修了のために必要な授業科目及びその単位数は、別に定める。

第17条の5 心理学科の学生で、公認心理師の受験資格を取得しようとする者は、公認心理師法（平成27年法律第68号）及び公認心理師法施行規則（平成29年文部科学省・厚生労働省令第3号）に定める所要の科目について単位を修得しなければならない。

第6章 学年、学期及び休業日

第18条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第19条 学年を分けて、次の2学期とする。

- (1) 前期 4月1日から9月20日まで
- (2) 後期 9月21日から翌年3月31日まで

2 前項に定める前期の終了日及び後期の開始日については、学長が年度により変更することができる。

第20条 定期休業は、次のように定める。

- (1) 土曜日
- (2) 日曜日
- (3) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (4) 創立記念日 4月30日
- (5) 夏季休業
- (6) 冬季休業

2 前項第5号及び第6号の休業日の期間は、年度により学長が別に定める。

3 必要がある場合は、学長は、第1項の休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第7章 入学、休学、転学科、退学及び外国留学

第21条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の必要がある場合は、入学の時期を後期の始めとすることができる。

第22条 本学に入学することのできる者は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

第23条 入学志願者は、所定の書類に入学検定料を添えて願い出なければならない。

2 入学検定料の額は別表第2のとおりとする。

第24条 入学志願者に対しては、選抜試験を行う。

第24条の2 本学に推薦入学制度を設ける。

2 推薦入学に関する規定は別に定める。

第25条 選抜試験に合格した者は、所定の納入金を納めて入学の許可を得なければならない。

第26条 入学を許可された者は、所定の誓約書、保証人連署の保証書及び住民票の写しを提出しなければならない。

2 保証人は、父母又はこれに代わる成年者で、学生在学中の一切の責任を負うものとする。

第27条 病気その他やむをえない事由により修学できないときは、学期又は学年を単位として休学を願い出ることができる。

2 休学しようとする者は、保証人連署の上その事由を記して願い出て許可を得なければならない。

3 休学は、当該学年限りとする。ただし、事由のある場合は、引き続き休学を願い出ることができる。

4 休学期間は、通算2年を限度とする。

5 休学期間は、在学年数に算入しない。

6 休学者は、学年又は学期の始めでなければ、復学することができない。

7 休学者は、許可された休学期間の末日までに復学を願い出て許可を得なければならない。

8 休学及び復学に関する規定は、別に定める。

第27条の2 本学が教育上有益と認めるときは、休学することなく外国の大学に留学することを許可することがある。

2 留学に関する規定は、別に定める。

第28条 退学しようとする者は、保証人連署の上その事由を記して願い出て許可を得なければならない。

2 退学に関する規定は、別に定める。

第29条 願いにより退学した者が所定の期限内に再入学を願い出たときは、選考の上、その翌年度における再入学を許可することがある。

2 再入学に関する規定は、別に定める。

第29条の2 他大学に在学する者で、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、教授会の審議を経て学長がその意見を徴し、相当年次に転入学を許可することがある。

2 転入学の志願及び入学手続きについては、第23条、第24条、第25条及び第26条を準用する。

3 第1項の規定により入学した者の入学前に修得した単位及び在学年数の全部又は一部を本学で修得した単位及び在学年数として認定又は換算することができる。

第30条 編入学又は学士入学を志望する者に対しては、選考の上、許可することがある。

2 この学則に定めるものの他、編入学及び学士入学について必要な事項は、別に定める規程に

よる。

第30条の2 転学科を願い出た者には、選考の上、これを認めることがある。

2 転学科に関する規定は、別に定める。

第31条 次の各号のいずれかに当たる者は、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して除籍する。

- (1) 学業成績不良で成業の見込がないと認めた者
- (2) 正当の理由がなくて3か月以上修学しない者
- (3) 在学年数が8年を超える者。ただし、休学期間を加算しない。
- (4) 所定の授業料、教育充実費又は在籍料の未納が1学期に及び、督促しても納入しない者

第8章 入学金、学費、在籍料及びその他納入金、並びに奨学金

第32条 授業料及び教育充実費（以下「学費」という。）は、年額を2回に分け、毎学期始め指定期日以内に納入しなければならない。

第33条 1学期を通じて休学する者に対しては、所定の在籍料を徴収する。ただし、中途復学者は、その学期の学費を納めなければならない。

第34条 入学金、学費及び在籍料の額は、別表第2のとおりとする。

2 学費、在籍料及びその他納入金の取り扱いについては、別に定める。

3 一旦納入した入学金、学費、在籍料及びその他納入金は、返還しない。

第34条の2 本学の奨学金については、別に定める。

第9章 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生

第35条 大学を卒業した女子が研究事項を定めて本学で研究することを願い出たときは、選考の上、研究生としてこれを許可することがある。

第36条 研究生規程は、別に定める。

第36条の2 本学所定の授業科目中、その1科目又は数科目の履修を願い出る者があるときは、授業に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として履修を許可することがある。

2 科目等履修生は、履修した授業科目について試験を受け合格した場合には、単位を修得することができる。

第36条の3 科目等履修生規程は、別に定める。

第37条 本学所定の授業科目中、その1科目又は数科目の聴講を願い出る者があるときは、授業に支障のない場合に限り、聴講生として聴講を許可することがある。

第38条 聴講生規程は、別に定める。

第38条の2 本学と協定のある日本国内の大学に在籍する学生で、本学所定の授業科目の履修を願い出る者があるときは、授業に支障のない場合に限り、選考の上、特別聴講学生としてその科目の履修を許可することがある。

2 特別聴講学生は、履修した授業科目について試験を受け合格した場合には、単位を修得することができる。

3 特別聴講学生の受入れ手続及び学費等の取扱いについては、当該大学との協定等による。

第39条 日本国籍を有しない者で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学で学修しようとする者については、外国人留学生として受け入れることができる。

第40条 外国人留学生規程は、別に定める。

第10章 教育研究施設及び公開講座

第41条 本学に次の施設を設ける。

- (1) 東京女子大学図書館
- (2) 東京女子大学比較文化研究所
- (3) 東京女子大学女性学研究所

- (4) 東京女子大学情報処理センター
- (5) 東京女子大学心理臨床センター
- (6) 東京女子大学英語センター
- (7) 東京女子大学AI・データサイエンス教育研究センター

第42条 前条の施設は、別に定める規程により運用する。

第43条 本学は、一定の講座を公開することがある。

第44条 公開講座は、成人教育及び一般公衆の文化向上を目的とし、これを開設する。

第11章 学寮及び保健施設

第45条 本学に学寮を設け、寮監を置く。

第46条 学寮は、別に定める規程により運営する。

第47条 本学に保健室を設け、健康診断を行うとともに健康相談に応じ、必要ある場合は応急処置をなす。

第12章 賞罰

第48条 品行方正、学力優秀な者又は奇特の行為があった者は、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して表彰することがある。

第49条 本学の教育方針に違反し、学生の本分にもとる行為のある者は、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して懲戒することがある。

2 懲戒は、訓戒、停学及び退学の3種とする。

3 退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがない者
- (2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第13章 改廃手続

第50条 この学則の改廃は、大学評議会の審議を経て、学長がその意見を徴し理事会に提案して、理事会が決定する。ただし、第8条の2第3項にかかわる改廃については、教授会の審議を経て、学長がその意見を徴するものとする。

附 則(1948年3月25日制定)

この学則は、1948年4月1日から施行する。

附 則(1950年3月1日改正)

この学則は、1950年4月1日から施行する。

附 則(1951年1月31日改正)

この学則は、1951年4月1日から施行する。

附 則(1954年2月15日改正)

この学則は、1954年4月1日から施行する。

附 則(1958年2月28日改正)

この学則は、1958年4月1日から施行する。

附 則(1961年3月10日改正)

この学則は、1961年4月1日から施行する。

附 則(1965年9月15日改正)

この学則は、1966年4月1日から施行する。

附 則(1971年1月29日改正)

この学則は、1971年4月1日から施行する。

附 則(1975年11月28日改正)

この学則は、1976年4月1日から施行する。

附 則(1985年2月22日改正)

この学則は、1985年4月1日から施行する。

附 則(1985年3月29日改正)

この学則は、1985年4月1日から施行する。

附 則(1986年5月30日改正)

この学則は、1986年5月30日から施行する。

附 則(1987年1月30日改正)

この学則は、1987年4月1日から施行する。

附 則(1987年4月1日改正)

この学則は、1987年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、1987年度から1993年度までの間、文理学部の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 、 学 科 等	入 学 定 員
文 理 学 部	
哲 学 科	30名
日 本 文 学 科	110名
英 米 文 学 科	165名
史 学 科	110名
社 会 学 科	110名
心 理 学 科	65名
数 理 学 科	60名
計	650名

附 則(1988年1月29日改正)

この学則は、1988年4月1日から施行する。

附 則(1989年3月24日改正)

この学則は、1989年4月1日から施行する。

附 則(1989年7月21日改正)

この学則は、1990年4月1日から施行する。

附 則(1989年9月22日改正)

この学則は、1990年4月1日から施行する。

附 則(1990年3月16日改正)

この学則は、1990年4月1日から施行する。

附 則(1990年7月20日改正)

この学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第17条の2第2項の規定は、1990年度入学者及び1992年度編入学者から適用する。なお、1989年度以前入学者及び1991年度以前編入学者については、高等学校教諭一種免許状の教科「地理歴史・公民」を「社会」と読みかえる。

附 則(1991年3月15日改正)

この学則は、1991年4月1日から施行する。

附 則(1992年1月17日改正)

この学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第17条の規定は、1991年7月1日から適用する。

附 則(1992年2月21日改正)

この学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則(1992年10月15日改正)

この学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則(1992年11月19日改正)

この学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則(1993年2月23日改正)

この学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則(1993年12月21日改正)

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、1994年度から1999年度までの間、文理学部の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 、 学 科 等	入 学 定 員
文 理 学 部	
哲 学 科	30名
日 本 文 学 科	110名
英 米 文 学 科	165名
史 学 科	110名
社 会 学 科	110名
心 理 学 科	65名
数 理 学 科	60名
計	650名

附 則(1994年2月17日改正)

この学則は、1994年4月1日から施行する。

附 則(1995年2月16日改正)

この学則は、1995年4月1日から施行する。ただし、第17条の3の規定は、1996年度2年次在籍者から適用する。

附 則(1995年12月14日改正)

この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、第9条、第11条、第12条及び第16条の規定は、1996年度1年次在籍者から適用する。

附 則(1996年2月29日改正)

この学則は、1996年4月1日から施行する。

附 則(1996年12月19日改正)

この学則は、1997年4月1日から施行する。

附 則(1997年1月23日改正)

この学則は、1997年4月1日から施行する。

附 則(1997年12月18日改正)

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則(1998年12月17日改正)

この学則は、1999年4月1日から施行する。

附 則(1999年12月22日改正)

この学則は、2000年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、文理学部の入学定員は2000年度から2004年度までの間、収容定員は2000年度から2007年度までの間、次のとおりとする。

学 部、学 科 等	入 学 定 員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
文 理 学 部					
哲 学 科	30 名	30 名	30 名	30 名	30 名
日 本 文 学 科	109 名	108 名	107 名	106 名	105 名
英 米 文 学 科	164 名	163 名	162 名	161 名	160 名
史 学 科	110 名	110 名	110 名	110 名	110 名
社 会 学 科	110 名	110 名	110 名	110 名	110 名
心 理 学 科	65 名	65 名	65 名	65 名	65 名
数 理 学 科	60 名	60 名	60 名	60 名	60 名
計	648 名	646 名	644 名	642 名	640 名

学部、学科等	収容定員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
文理学部					
哲学科	120名	120名	120名	120名	120名
日本文学科	439名	437名	434名	430名	426名
英米文学科	659名	657名	654名	650名	646名
史学科	440名	440名	440名	440名	440名
社会学科	440名	440名	440名	440名	440名
心理学科	260名	260名	260名	260名	260名
数理学科	240名	240名	240名	240名	240名
計	2,598名	2,594名	2,588名	2,580名	2,572名

学部、学科等	収容定員		
	2005年度	2006年度	2007年度
文理学部			
哲学科	120名	120名	120名
日本文学科	418名	411名	405名
英米文学科	633名	621名	610名
史学科	430名	420名	410名
社会学科	430名	420名	410名
心理学科	255名	250名	245名
数理学科	230名	220名	210名
計	2,516名	2,462名	2,410名

附 則(2000年1月20日改正)

この学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則(2000年3月21日改正)

この学則は、2000年4月1日から施行する。ただし、第17条の2第2項の規定は、2000年度入学者から適用する。

附 則(2001年1月25日改正)

この学則は、2001年4月1日から施行する。

附 則(2001年2月22日改正)

この学則は、2001年2月22日から施行し、2001年1月6日から適用する。

附 則(2002年1月24日改正)

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則(2002年2月21日改正)

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則(2002年3月11日改正)

この学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、第17条の2第2項の規定は、2002年度入学者から適用する。

附 則(2002年5月16日改正)

この学則は、2002年5月16日から施行する。

附 則(2003年1月16日改正)

この学則は、2003年4月1日から施行する。ただし、改正後の第9条、第10条、第11条、第11条の2、第12条、第13条、第15条の2、第17条の4、第27条、第30条及び第31条第3号の規定は、2003年度以降の入学者に適用し、2002年度以前の入学者については従前の学則による。

附 則(2003年4月17日改正)

この学則は、2003年4月17日から施行し、2003年4月1日から適用する。

附 則(2003年7月31日改正)

この学則は、2004年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、収容定員は2004年度から2006年度までの間、次のとおりとする。

学部、学科等	収容定員		
	2004年度	2005年度	2006年度
文理学部			
哲学	120名	120名	120名
日本文学	421名	413名	406名
英米文学	621名	593名	566名
史学	430名	420名	410名
社会学	440名	440名	440名
心理学	275名	290名	305名
数理学	240名	240名	240名
(計)	2,547名	2,516名	2,487名
現代文化学部			
コミュニケーション学科	335名	350名	365名
地域文化学科	365名	370名	375名
言語文化学科	325名	330名	335名
(計)	1,025名	1,050名	1,075名
総計	3,572名	3,566名	3,562名

附 則(2003年10月16日改正)

この学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則(2003年12月18日改正)

- この学則は、2004年4月1日から施行する。ただし、別表第2(第23条第2項及び第34条第1項関係)は、2003年12月18日から施行する。
- 附則(1999年12月22日改正)の2004年度入学定員及び2007年度収容定員は、これを適用しない。

附 則(2004年7月15日改正)

この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、別表第1の2(第17条の4第2項関係)は、2004年7月15日から施行する。

附 則(2004年11月18日改正)

この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(1)共通科目に係る部分は、2004年度以降の入学者に適用し、2003年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2005年3月10日改正)

この学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則(2005年7月21日改正)

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則(2005年12月15日改正)

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則(2006年12月21日改正)

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則(2007年3月16日改正)

この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(6)学科科目ア文理学部(キ)数理学科に係る部分及び第17条の2第2項については、2006年度以降の入学者に適用し、2005年度以前の入学者については、従前の学則による。また、改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(8)教職課程科目に係る部分については、2007年度以降の入学者に適用し、2006年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2007年12月20日改正)

この学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則(2008年2月21日改正)

- 1 この学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 文理学部哲学科、日本文学科、英米文学科、史学科、社会学科、心理学科及び数理学科並びに現代文化学部コミュニケーション学科、地域文化学科及び言語文化学科は、改正後の第3条、第4条及び第5条の規定にかかわらず、当該学部学科に2009年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 改正後の学則第17条の規定にかかわらず、文理学部哲学科、日本文学科、英米文学科、史学科、社会学科、心理学科を卒業した者には学士（文学）、数理学科を卒業した者には、学士（理学）、現代文化学部を卒業した者には学士（現代文化）の学位を授与する。
- 4 改正後の第3条、第12条、第17条の2、第30条の2、別表第1及び別表第1の2については、2009年度以降の入学者に適用し、2008年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2008年12月24日改正)

- 1 この学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1については、2009年度以降の入学者に適用し、2008年度以前の入学者については、2007年12月20日改正の学則による。

附 則(2009年1月15日改正)

この学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則(2009年2月19日改正)

この学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則(2010年1月21日改正)

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則(2010年1月25日改正)

- 1 この学則は、2010年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1については、2010年度以降の入学者に適用し、2009年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2011年1月20日改正)

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則(2011年4月21日改正)

この学則は、2011年4月21日から施行し、2011年4月1日から適用する。

附 則(2011年12月15日改正)

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則(2012年3月26日改正)

- 1 この学則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(9)学芸員課程科目に係る部分は、2012年度以降の入学者に適用し、2011年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2012年9月20日改正)

- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2012年12月20日改正)

- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1の2(第17条の4第2項関係)については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2013年9月19日改正)

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)については、2014年度以降の入学者に適用し、2013年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2014年1月16日改正)

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1（第9条第3項関係）の（1）総合教養科目に係る部分については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。
- 3 改正後の別表第1（第9条第3項関係）の（6）学科科目及び（7）教職特設科目に係る部分並びに別表第1の2（第17条の4第2項関係）については、2014年度以降の入学者に適用し、2013年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2014年7月17日改正)

この学則は、2014年7月17日から施行する。

附 則(2015年1月15日改正)

この学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則(2016年1月21日改正)

この学則は、2016年4月1日から施行する。

附 則(2016年2月18日改正)

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1（第9条第3項関係）の（1）総合教養科目に係る部分については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2016年4月21日改正)

この学則は、2016年4月21日から施行する。

附 則(2016年9月15日改正)

この学則は、2016年9月15日から施行する。

附 則(2016年12月15日改正)

この学則は、2017年4月1日から施行する。

附 則(2017年2月16日改正)

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1（第9条第3項関係）の（1）総合教養科目及び（3）外国語科目に係る部分については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2017年3月9日改正)

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 人文学科の英語文学文化専攻及び史学専攻は、改正後の第4条の規定にかかわらず、当該専攻に2018年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 人間科学科の心理学専攻、コミュニケーション専攻及び言語科学専攻は、改正後の第4条及び第5条の規定にかかわらず、当該学科に2018年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 4 改正後の第17条の規定にかかわらず、人間科学科を卒業した者には学士（教養）の学位を授与する。
- 5 改正後の第9条、第12条、第17条の2、別表第1及び別表第1の2については、2018年度以降の入学者に適用し、2017年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則(2017年12月21日改正)

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1（第9条第3項関係）については、2018年度以降の入学者に適用し、2017年度以前の入学者については、従前の学則による。
- 3 前項の規定にかかわらず、2017年度以前の入学者のうち、2013年度以降入学者については、別表第1(第9条第3項関係)の(1)総合教養科目 人間と自然科学領域の次の5科目を適用する。

「代数と幾何の基礎」「代数と幾何の考え方とその応用」「微分と積分の基礎」

「微分と積分の考え方とその応用」「確率統計の基礎」

附 則(2019年2月21日改正)

この学則は、2019年4月1日から施行する。ただし改正後の別表第1（第9条第2項関係）は2018

年度以降の入学者に適用し、2017年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則 (2019年3月14日改正)

この学則は、2019年4月1日から施行する。ただし改正後の別表第1（第9条第2項関係）の（8）教職課程科目に係る部分については、2019年度以降の入学者に適用し、2018年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則 (2020年1月16日改正)

この学則は、2020年4月1日から施行する。ただし改正後の第17条の5の規定は、2018年度入学者から適用する。

附 則 (2020年6月18日改正)

この学則は、2020年6月18日から施行する。ただし改正後の別表第1（第9条第2項関係）は、2018年度入学者から適用する。

附 則 (2021年4月15日改正)

この学則は、2021年4月15日から施行し、2021年4月1日から適用する。ただし、第5条は、2022年4月1日から施行する。第5条の規定にかかわらず、収容定員は2022年度から2024年度までの間、次のとおりとする。

学 部、学 科 等	収 容 定 員		
	2022 年度	2023 年度	2024 年度
現 代 教 養 学 部			
国 際 英 語 学 科	595 名	570 名	545 名
人 文 学 科	805 名	810 名	815 名
国 際 社 会 学 科	1,094 名	1,108 名	1,122 名
心 理 ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	785 名	790 名	795 名
数 理 科 学 科	281 名	282 名	283 名
(計)	3,560 名	3,560 名	3,560 名

附 則 (2022年2月17日改正)

この学則は、2022年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1（第9条2項関係）の（2）挑戦する知性科目に係る部分は、2021年度以降の入学者に適用し、2020年度以前の入学者については、従前の学則による。また、改正後の別表第1（第9条2項関係）の（7）学科科目エ心理・コミュニケーション学科及び（8）教職課程科目に係る部分については2022年度以降の入学者に適用し、2021年度以前の入学者については、従前の学則による。

附 則 (2023年3月10日改正)

この学則は、2023年4月1日から施行する。

附 則 (2023年4月20日改正)

- 1 この学則は、2023年4月20日から施行し、2023年4月1日から適用する。
- 2 別表第1（第9条第2項関係）（10）教職課程科目に係る部分は、2022年2月17日改正時附則にかかわらず、2019年度以降の入学者に適用する。
- 3 第1項にかかわらず、別表第1（第9条第2項関係）（10）教職課程科目及び別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係）に係る部分を除き、2024年4月1日から適用する。改正後の第4条第6項、第5条、第9条、第12条、第13条、第16条及び別表第1（第9条第2項関係。ただし、（10）教職課程科目を除く。）については、2024年度以降の入学者に適用し、2023年度以前の入学者については、従前の学則による。ただし、現代教養学部の収容定員は、第5条の規定にかかわらず、2024年度から2026年度までの間、次のとおりとする。

学 部、学 科 等	収 容 定 員		
	2024年度	2025年度	2026年度
現 代 教 養 学 部			
国 際 英 語 学 科	515名	460名	430名
人 文 学 科	815名	820名	820名
国 際 社 会 学 科	1,122名	1,136名	1,136名
心理・コミュニケーション学科	795名	800名	800名
数 理 科 学 科	283名	284名	284名
(計)	3,530名	3,500名	3,470名

4 前項にかかわらず、改正後の別表第1（第9条第2項関係）に定める以下の科目については2018年度から2023年度入学者にも適用する。

知のかけはし科目人文社会横断型AからZ及び自然科学包含型AからI

消費者行動論、人的資源管理論、アクティブラーニング実習（経済経営）1及び2

5 第3項にかかわらず、別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係）に係る部分は、2024年4月1日から適用する。

附 則（2024年2月15日改正）

1 この学則は、2024年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1（第9条2項関係）に係る部分は、2024年度以降の入学者に適用し、2023年度以前の入学者については、従前の学則による。

2 前項にかかわらず、改正後の別表第1（第9条第2項関係）に定める早稲田大学連携科目については2018年度から2023年度入学者にも適用する。

附 則（2024年3月14日改正）

1 この学則は、2024年4月1日から施行する。ただし、改正後の学則は2024年度以降の入学者に適用し、2023年度以前の入学者については従前の学則による。

2 改正後の別表第1（第9条第2項関係）に定める以下の科目については、2018年度から2023年度入学者にも適用し下記科目として履修できるものとする。

「挑戦するリベラルアーツ」及び「女性のための金融リテラシー入門」：挑戦する知性科目

「メディアと経済」：心理・コミュニケーション学科科目

附 則（2024年4月18日改正）

1 この学則は、2025年4月1日から施行する。改正後の学則は2025年度以降入学者に適用し、2024年度以前入学者については従前の学則による。

2 国際英語学科国際英語専攻、人文学科日本文学専攻、国際社会学科国際関係専攻、経済学専攻、社会学専攻、コミュニティ構想専攻、心理・コミュニケーション学科心理学専攻、コミュニケーション専攻、数理科学科数学専攻及び情報理学専攻は、改正後の第4条及び第5条の規定にかかわらず、当該専攻に2025年3月31日に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 改正後の第17条の規定にかかわらず、国際英語学科国際英語専攻、人文学科日本文学専攻、国際社会学科国際関係専攻、経済学専攻、社会学専攻、コミュニティ構想専攻、心理・コミュニケーション学科心理学専攻、コミュニケーション専攻を卒業した者には学士（教養）の学位を、数理科学科数学専攻及び情報理学専攻を卒業した者には学士（理学）の学位を授与する。

別表第1（第9条第2項関係）

授業科目及び単位数

(1) 知のかげはし科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
人文社会横断型 A	2	選択必修	○
人文社会横断型 B	2	選択必修	○
人文社会横断型 C	2	選択必修	○
人文社会横断型 D	2	選択必修	○
人文社会横断型 E	2	選択必修	○
人文社会横断型 F	2	選択必修	○
人文社会横断型 G	2	選択必修	○
人文社会横断型 H	2	選択必修	○
人文社会横断型 I	2	選択必修	○
人文社会横断型 J	2	選択必修	○
人文社会横断型 K	2	選択必修	○
人文社会横断型 L	2	選択必修	○
人文社会横断型 M	2	選択必修	○
人文社会横断型 N	2	選択必修	○
人文社会横断型 O	2	選択必修	○
人文社会横断型 P	2	選択必修	○
人文社会横断型 Q	2	選択必修	○
人文社会横断型 R	2	選択必修	○
人文社会横断型 S	2	選択必修	○
人文社会横断型 T	2	選択必修	○
人文社会横断型 U	2	選択必修	○
人文社会横断型 V	2	選択必修	○
人文社会横断型 W	2	選択必修	○
人文社会横断型 X	2	選択必修	○
人文社会横断型 Y	2	選択必修	○
人文社会横断型 Z	2	選択必修	○
自然科学包含型 A	2	選択必修	○
自然科学包含型 B	2	選択必修	○
自然科学包含型 C	2	選択必修	○
自然科学包含型 D	2	選択必修	○
自然科学包含型 E	2	選択必修	○
自然科学包含型 F	2	選択必修	○
自然科学包含型 G	2	選択必修	○

自然科学包含型 H	2	選択必修	○
自然科学包含型 I	2	選択必修	○

(2) 女性の生きる力科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
挑戦するリベラルアーツ	2	選択	
女性学・ジェンダーを学ぶ	2	選択	
女性のキャリア形成	2	選択	
女性と社会	2	選択	
女性のウェルビーイング	2	選択	
女性の起業	2	選択	
女性のための金融リテラシー入門	2	選択	
日本国憲法	2	選択	
ケンブリッジ教養講座	2	選択	
女性のウェルネス・身体運動	1	必修	○
からだの科学	2	選択	
発育と発達	2	選択	
栄養と健康	2	選択	
女性の健康科学	2	選択	
性と生命 (セクソロジー)	2	選択	
女性の心身コンディショニング	2	選択	
実践			
スポーツ A	1	選択	
スポーツ B	1	選択	
スポーツ C	1	選択	
スポーツ D	1	選択	
フィジカルエクササイズ A	1	選択	
フィジカルエクササイズ B	1	選択	
フィジカルエクササイズ C	1	選択	
身体表現A	1	選択	
身体表現B	1	選択	
身体表現C	1	選択	

(3) キリスト教学科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
基礎			
キリスト教学入門 I	2	必修	○

キリスト教入門Ⅱ	2	必修	○
発展			
キリスト教概論	2	選択	
聖書の世界	2	選択	
キリスト教と倫理	2	選択	
キリスト教の歴史	2	選択	
日本のキリスト教	2	選択	
キリスト教の思想・文化	2	選択	
キリスト教と諸宗教	2	選択	
キリスト教と芸術	2	選択	
キリスト教と音楽	2	選択	
キリスト教講読	2	選択	

(4) Global Citizenship Program科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
Integrated English A	1	選択	
Integrated English B	1	選択	
Integrated English C	1	選択	
Integrated English D	1	選択	
Global Studies Seminar A	2	選択	
Global Studies Seminar B	2	選択	
＜以下の6科目はGlobal Citizenship Program登録者のみ履修できる＞			
Global Liberal Arts A	2	選択	
Global Liberal Arts B	2	選択	
Study Abroad Preparatory English	1	選択	
Post-SA Research Seminar	2	選択	
Global Citizenship Workshop I	2	選択	
Global Citizenship Workshop II	2	選択	
SA-based Global English	4～17	選択	

(5) 第一外国語科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
Integrated Learning			
Academic Discussion Skills A	1	必修	○
Academic Discussion Skills B	1	必修	○
Academic Reading Skills A	1	必修	○
Academic Reading Skills B	1	必修	○

Academic Writing Skills I	1	必修	○
Academic Writing Skills II	1	必修	○
Exploring Content			
Exploring Content: Listening/Speaking A	1	必修	○
Exploring Content: Listening/Speaking B	1	必修	○
Exploring Content: Reading/Writing A	1	必修	○
Exploring Content: Reading/Writing B	1	必修	○
Critical Thinking and Creativity			
Presenting Research	2	選択	
Writing Research Papers	2	選択	
Media Literacy	1	選択	
English through Literature	2	選択	
Topics in Language Study	2	選択	
Topics in Arts and Sciences	2	選択	
Academic Preparation			
IELTS	1	選択	
Effective Communication			
Business English	1	選択	
Pronunciation	1	選択	
英語音声学	2	選択	
Integrated Learning Elective			
Extensive Reading	1	選択	
Study Skills	1	選択	
Intensive English	2	選択	
<以下の2科目は外国人留学生のみ履修できる>			
日本語Ⅰ（入門）	4	必修	
日本語Ⅱ（応用）	4	必修	

(6) 第二外国語科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
ドイツ語初級1	2	選択必修	○
フランス語初級1	2	選択必修	○
スペイン語初級1	2	選択必修	○
中国語初級1	2	選択必修	○
韓国語初級1	2	選択必修	○
ドイツ語初級2	1	選択必修	○

フランス語初級2	1	選択必修	○
スペイン語初級2	1	選択必修	○
中国語初級2	1	選択必修	○
韓国語初級2	1	選択必修	○
ドイツ語 (読解)	1	選択	
ドイツ語 (会話)	1	選択	
ドイツ語 (総合)	1	選択	
フランス語 (読解)	1	選択	
フランス語 (会話)	1	選択	
フランス語 (総合)	1	選択	
スペイン語 (読解)	1	選択	
スペイン語 (会話)	1	選択	
スペイン語 (総合)	1	選択	
中国語 (読解)	1	選択	
中国語 (会話)	1	選択	
中国語 (総合)	1	選択	
韓国語 (読解)	1	選択	
韓国語 (会話)	1	選択	
韓国語 (総合)	1	選択	
中国と日本の文学文化A	2	選択	
中国と日本の文学文化B	2	選択	
ドイツの歴史と文化A	2	選択	
ドイツの歴史と文化B	2	選択	

(7) ギリシア語・ラテン語科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
ギリシア語初級1	1	選択	
ギリシア語初級2	1	選択	
ラテン語初級1	1	選択	
ラテン語初級2	1	選択	
ギリシア語中級	1	選択	
ラテン語中級	1	選択	

(8) AI・データサイエンス科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
DSリテラシー・ICT科目			

DS・ICT入門Ⅰ	2	必修	○
DS・ICT入門Ⅱ	2	必修	○
DSのための数学入門	2	選択	
コンピュータ・サイエンスⅠ	2	選択	
コンピュータ・サイエンスⅡ	2	選択	
情報と社会	2	選択	
情報と職業	2	選択	
ネットワークとセキュリティ	2	選択	
DS基礎			
DSのための微分積分入門Ⅰ	2	選択	
DSのための微分積分入門Ⅱ	2	選択	
DSのための線形代数入門Ⅰ	2	選択	
DSのための線形代数入門Ⅱ	2	選択	
DSのための確率	2	選択	
DSのための統計	2	選択	
データ分析	2	選択	
DS基礎	2	選択	
DE基礎			
Rプログラミング	2	選択	
Pythonプログラミング	2	選択	
データハンドリングの基礎	2	選択	
AI基礎			
機械学習の基礎	2	選択	
早稲田大学連携科目			
データ科学入門 α	1	選択	
データ科学入門 β	1	選択	
データ科学入門 γ	1	選択	
データ科学入門 δ	1	選択	
データ科学実践	1	選択	
回帰と分類のデータ科学	1	選択	
時系列構造のデータ科学	1	選択	
潜在構造のデータ科学	1	選択	

(9) 学科科目

ア 人文学科

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
基盤講義			
人文学科共通必修			
人文学入門	2	必修	○
文化			
キリスト教の思想・文化	2	選択	
キリスト教の歴史	2	選択	
音楽芸術	2	選択	
音楽史	2	選択	
比較思想	2	選択	
日本の伝統芸能A	2	選択	
日本の伝統芸能B	2	選択	
近現代文化と日本文学	2	選択	
漢文と日本文化	2	選択	
Japanese Culture & Literature	2	選択	
異文化理解	2	選択	
英語文学文化理論	2	選択	
アメリカの社会と文化 (アメリカ社会基礎論)	2	選択	
歴史文化の基礎テーマA	2	選択	
歴史文化の基礎テーマB	2	選択	
哲学			
哲学の基本問題	2	選択 (哲学専攻は必修)	
哲学の歴史的展開	2	選択 (哲学専攻は必修)	
哲学概論	2	選択 (哲学専攻は必修)	
倫理学概論	2	選択	
美学概論	2	選択	
キリスト教学概論	2	選択	
思考と論理	2	選択	
西洋古代哲学講読	2	選択	
西洋中世哲学講読	2	選択	
キリスト教学講読	2	選択	
古代ギリシア哲学史	2	選択	
中世ヨーロッパ哲学史	2	選択	

西洋近代哲学史	2	選択	
西洋現代哲学史	2	選択	
西洋倫理学史	2	選択	
美学史	2	選択	
宗教学	2	選択	
宗教史	2	選択	
言語			
日本語の世界	2	選択	
日本語学概論Ⅰ	2	選択（日本文学文化専攻は必修）	
日本語学概論Ⅱ	2	選択（日本文学文化専攻は必修）	
日本語の歴史Ⅰ	2	選択	
日本語の歴史Ⅱ	2	選択	
言語の多様性と普遍性	2	選択	
英語学概論A	2	選択	
英語学概論B	2	選択	
応用言語学概論A	2	選択	
応用言語学概論B	2	選択	
第二言語習得基礎論A	2	選択	
第二言語習得基礎論B	2	選択	
文学			
日本文学概論（古代）	2	選択	
日本文学概論（中世）	2	選択	
日本文学概論（近世）	2	選択	
日本文学概論（近現代）Ⅰ	2	選択（日本文学文化専攻は必修）	
日本文学概論（近現代）Ⅱ	2	選択（日本文学文化専攻は必修）	
漢文学概論A	2	選択	
漢文学概論B	2	選択	
書道	2	選択	
英語文学文化概論A	2	選択	
英語文学文化概論B	2	選択	
英語文学文化史（イギリス）Ⅰ	2	選択	
英語文学文化史（イギリス）Ⅱ	2	選択	
英語文学文化史（アメリカ）	2	選択	
英語文学文化史（英語圏・現代）	2	選択	
歴史			
日本史概論Ⅰ	2	選択（歴史文化専攻は必修）	

日本史概論Ⅱ	2	選択（歴史文化専攻は必修）	
アジア史概論	2	選択（歴史文化専攻は必修）	
西洋史概論	2	選択（歴史文化専攻は必修）	
発展講義			
人文学科共通必修			
人文学総合講義	2	必修	○
文化			
比較文化A	2	選択	
比較文化B	2	選択	
表象文化A	2	選択	
表象文化B	2	選択	
メディアと日本文化A	2	選択	
メディアと日本文化B	2	選択	
トランスレーション・スタディーズ A	2	選択	
トランスレーション・スタディーズ B	2	選択	
美術史A	2	選択	
美術史B	2	選択	
世界遺産学A	2	選択	
世界遺産学B	2	選択	
歴史文化の発展テーマA	2	選択	
歴史文化の発展テーマB	2	選択	
歴史文化の発展テーマC	2	選択	
歴史文化の発展テーマD	2	選択	
ドイツの歴史と文化A	2	選択	
ドイツの歴史と文化B	2	選択	
哲学			
現代社会を哲学する	2	選択	
哲学研究の最前線	2	選択	
現代の倫理	2	選択	
日本と東洋の美学	2	選択	
西洋の美学	2	選択	
ジェンダーの哲学	2	選択	
言語			
日本語の歴史特論A	2	選択	
日本語の歴史特論B	2	選択	
現代日本語特論A	2	選択	

現代日本語特論B	2	選択	
社会言語学 (日本語)	2	選択	
社会言語学 (英語)	2	選択	
英語学 (意味・語用論)	2	選択	
英語学 (音韻論)	2	選択	
英語学 (形態・統語論)	2	選択	
英語史	2	選択	
第二言語習得理論	2	選択	
第二言語教育法	2	選択	
文学			
奈良平安の文学A	2	選択	
奈良平安の文学B	2	選択	
鎌倉室町の文学A	2	選択	
鎌倉室町の文学B	2	選択	
江戸の文学A	2	選択	
江戸の文学B	2	選択	
日本近現代文学A	2	選択	
日本近現代文学B	2	選択	
中国と日本の文学文化A	2	選択	
中国と日本の文学文化B	2	選択	
英語文学文化A	2	選択	
英語文学文化B	2	選択	
歴史			
日本古代史	2	選択	
日本中近世史	2	選択	
日本近現代史	2	選択	
日本古代史料論	2	選択	
日本中近世史料論	2	選択	
日本近現代史料論	2	選択	
中国史A	2	選択	
中国史B	2	選択	
アジア地域史A	2	選択	
アジア地域史B	2	選択	
ギリシア・ローマ史	2	選択	
ヨーロッパ地域史A	2	選択	
ヨーロッパ地域史B	2	選択	

ヨーロッパ地域史C	2	選択	
ヨーロッパ地域史D	2	選択	
世界史資料論 (アジア)	2	選択	
世界史資料論 (ヨーロッパ)	2	選択	
パブリック・ヒストリー	2	選択	
考古学	2	選択	
人文地理学	2	選択	
自然地理学	2	選択	
地誌学	2	選択	
基盤演習			
人文学科共通必修			
人文学基礎演習	2	必修	○
文化			
日本文化演習 (くずし字)	2	選択	
日本文化演習 (古典と現代)	2	選択	
日本文化演習 (古典籍)	2	選択	
日本文化演習 (視覚文化) A I	2	選択	
日本文化演習 (視覚文化) A II	2	選択	
日本文化演習 (視覚文化) B I	2	選択	
日本文化演習 (視覚文化) B II	2	選択	
創作と批評	2	選択	
批評と出版文化	2	選択	
哲学			
2年次演習 I (哲学)	2	選択 (哲学専攻は必修)	
2年次演習 II (哲学)	2	選択 (哲学専攻は必修)	
言語			
日本語史演習 I	2	選択	
日本語史演習 II	2	選択	
現代日本語演習 I	2	選択	
現代日本語演習 II	2	選択	
日本語資料調査	2	選択	
日本語データ分析 I	2	選択	
日本語データ分析 II	2	選択	
英語音声学	2	選択	
英語学入門演習	2	選択	
Pronunciation	1	選択	

英語教育演習A	2	選択	
英語教育演習B	2	選択	
英語学演習A	2	選択	
英語学演習B	2	選択	
English Seminar Writing I	2	選択 (英語圏文化専攻は必修)	
English Seminar Writing II	2	選択 (英語圏文化専攻は必修)	
文学			
日本古典文学入門演習	2	選択	
日本古典文学演習A	2	選択	
日本古典文学演習B	2	選択	
日本古典文学演習C	2	選択	
日本古典文学演習D	2	選択	
日本古典文学演習E	2	選択	
日本古典文学演習F	2	選択	
日本近代文学演習A I	2	選択	
日本近代文学演習A II	2	選択	
日本近代文学演習B I	2	選択	
日本近代文学演習B II	2	選択	
日本現代文学演習A I	2	選択	
日本現代文学演習A II	2	選択	
日本現代文学演習B I	2	選択	
日本現代文学演習B II	2	選択	
英語文学文化入門演習	2	選択	
English through Literature	2	選択	
英語文学文化演習A	2	選択	
英語文学文化演習B	2	選択	
英語文学文化演習C	2	選択	
英語文学文化演習D	2	選択	
歴史			
歴史文化基礎演習	2	選択 (歴史文化専攻は必修)	
歴史文化演習 (日本古代) A I	2	選択	
歴史文化演習 (日本古代) A II	2	選択	
歴史文化演習 (日本古代) B I	2	選択	
歴史文化演習 (日本古代) B II	2	選択	
歴史文化演習 (日本近現代) A I	2	選択	
歴史文化演習 (日本近現代) A II	2	選択	

歴史文化演習（日本近現代） B I	2	選択	
歴史文化演習（日本近現代） B II	2	選択	
歴史文化演習（アジア史） A I	2	選択	
歴史文化演習（アジア史） A II	2	選択	
歴史文化演習（アジア史） B I	2	選択	
歴史文化演習（アジア史） B II	2	選択	
歴史文化演習（西洋古代） A I	2	選択	
歴史文化演習（西洋古代） A II	2	選択	
歴史文化演習（西洋古代） B I	2	選択	
歴史文化演習（西洋古代） B II	2	選択	
歴史文化演習（西洋近世） A I	2	選択	
歴史文化演習（西洋近世） A II	2	選択	
歴史文化演習（西洋近世） B I	2	選択	
歴史文化演習（西洋近世） B II	2	選択	
歴史文化演習（西洋近現代） A I	2	選択	
歴史文化演習（西洋近現代） A II	2	選択	
歴史文化演習（西洋近現代） B I	2	選択	
歴史文化演習（西洋近現代） B II	2	選択	
オーラル・ヒストリー	2	選択	
発展演習			
哲学文化			
人文学発展演習（倫理学） A I	2	選択	
人文学発展演習（倫理学） A II	2	選択	
人文学発展演習（倫理学） B I	2	選択	
人文学発展演習（倫理学） B II	2	選択	
人文学発展演習（近代哲学） A I	2	選択	
人文学発展演習（近代哲学） A II	2	選択	
人文学発展演習（近代哲学） B I	2	選択	
人文学発展演習（近代哲学） B II	2	選択	
人文学発展演習（美学） A I	2	選択	
人文学発展演習（美学） A II	2	選択	
人文学発展演習（美学） B I	2	選択	
人文学発展演習（美学） B II	2	選択	
人文学発展演習（現代哲学） A I	2	選択	
人文学発展演習（現代哲学） A II	2	選択	
人文学発展演習（現代哲学） B I	2	選択	

人文学発展演習（現代哲学）BⅡ	2	選択	
人文学論文演習（哲学）Ⅰ	2	選択（哲学専攻は必修）	
人文学論文演習（哲学）Ⅱ	2	選択（哲学専攻は必修）	
言語文化			
人文学発展演習（日本文学文化）Ⅰ	2	選択（日本文学文化専攻は必修）	
人文学発展演習（日本文学文化）Ⅱ	2	選択（日本文学文化専攻は必修）	
人文学発展演習（英語圏文化）Ⅰ	2	選択（英語圏文化専攻は必修）	
人文学発展演習（英語圏文化）Ⅱ	2	選択（英語圏文化専攻は必修）	
英語教育—多元的アプローチ A	2	選択	
英語教育—多元的アプローチ B	2	選択	
人文学論文演習（日本文学文化）Ⅰ	2	選択（日本文学文化専攻は必修）	
人文学論文演習（日本文学文化）Ⅱ	2	選択（日本文学文化専攻は必修）	
人文学論文演習（英語圏文化）Ⅰ	2	選択（英語圏文化専攻は必修）	
人文学論文演習（英語圏文化）Ⅱ	2	選択（英語圏文化専攻は必修）	
歴史文化			
人文学発展演習（歴史文化）Ⅰ	2	選択（歴史文化専攻は必修）	
人文学発展演習（歴史文化）Ⅱ	2	選択（歴史文化専攻は必修）	
人文学論文演習（歴史文化）Ⅰ	2	選択（歴史文化専攻は必修）	
人文学論文演習（歴史文化）Ⅱ	2	選択（歴史文化専攻は必修）	
卒業論文			
卒業論文	8	必修	○

イ 国際社会学科

授業科目名	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
入門			
国際関係論Ⅰ	2	必修	○
国際関係論Ⅱ	2	必修	○
文化人類学Ⅰ	2	必修	○
文化人類学Ⅱ	2	必修	○
基盤講義			
政治学概論	2	選択	
法学概論	2	選択	
国際関係史	2	選択	
国際社会方法論入門	2	選択	
平和学	2	選択	
日本の社会と文化（日本史概論）	2	選択	
中国の社会と文化（東洋史概論）	2	選択	

朝鮮の社会と文化（東洋史概論）	2	選択	
グローバルヒストリー（西洋史概論）	2	選択	
アメリカの社会と文化（アメリカ社会基礎論）	2	選択	
東アジア社会基礎論	2	選択	
東南アジア社会基礎論	2	選択	
多文化コミュニケーションデザイン	2	選択	
言語の多様性と普遍性	2	選択	
応用講義			
【国際関係学】			
ジェンダー国際関係論	2	選択	
国際関係法Ⅰ	2	選択	
国際関係法Ⅱ	2	選択	
国際機構論	2	選択	
現代アメリカ政治論	2	選択	
アジア国際関係論	2	選択	
開発経済学Ⅰ	2	選択	
開発経済学Ⅱ	2	選択	
国際開発論Ⅰ	2	選択	
国際開発論Ⅱ	2	選択	
欧州統合論	2	選択	
日本政治外交史Ⅰ	2	選択	
日本政治外交史Ⅱ	2	選択	
朝鮮政治外交史Ⅰ	2	選択	
朝鮮政治外交史Ⅱ	2	選択	
中国政治外交史Ⅰ	2	選択	
中国政治外交史Ⅱ	2	選択	
【地域研究】			
アメリカ史Ⅰ	2	選択	
アメリカ史Ⅱ	2	選択	
香港・台湾論	2	選択	
現代中国論	2	選択	
現代韓国論	2	選択	
現代アメリカの動態	2	選択	
【文化人類学】			
民族誌特論	2	選択	
人類学史・質的研究	2	選択	
政治人類学	2	選択	
人権・人道の人類学	2	選択	

南アジア社会特論	2	選択	
イスラム社会特論	2	選択	
民族と現代世界	2	選択	
【日本語教育】			
日本語教育研究概論Ⅰ	2	選択	
日本語教育研究概論Ⅱ	2	選択	
【教職関連科目】			
人文地理学	2	選択	
自然地理学	2	選択	
地誌学	2	選択	
発展講義			
【国際関係学】			
国際政治経済Ⅰ	2	選択必修	
国際政治経済Ⅱ	2	選択必修	
比較政治学Ⅰ	2	選択必修	
比較政治学Ⅱ	2	選択必修	
近現代日本研究Ⅰ	2	選択必修	
近現代日本研究Ⅱ	2	選択必修	
アメリカ研究（政治・外交）Ⅰ	2	選択必修	
アメリカ研究（政治・外交）Ⅱ	2	選択必修	
国際平和研究Ⅰ	2	選択必修	
国際平和研究Ⅱ	2	選択必修	
国際協力とジェンダーⅠ	2	選択必修	
国際協力とジェンダーⅡ	2	選択必修	
人間の安全保障Ⅰ	2	選択必修	
人間の安全保障Ⅱ	2	選択必修	
【地域研究】			
朝鮮研究Ⅰ	2	選択必修	
朝鮮研究Ⅱ	2	選択必修	
アメリカ研究（社会史）Ⅰ	2	選択必修	
アメリカ研究（社会史）Ⅱ	2	選択必修	
中国研究Ⅰ	2	選択必修	
中国研究Ⅱ	2	選択必修	
【文化人類学】			
周縁世界とグローバル化Ⅰ	2	選択必修	
周縁世界とグローバル化Ⅱ	2	選択必修	
地域比較文化論	2	選択必修	
医療人類学	2	選択必修	
【日本語教育】			

日本語教育研究Ⅰ	2	選択必修	
日本語教育研究Ⅱ	2	選択必修	
特別科目			
実践時事英語Ⅰ	4	選択	
実践時事英語Ⅱ	4	選択	
海外研修	2	選択	
基盤演習			
基礎演習（国際社会）Ⅰ	2	必修	○
基礎演習（国際社会）Ⅱ	2	必修	○
2年次演習（国際社会）Ⅰ	2	必修	○
2年次演習（国際社会）Ⅱ	2	必修	○
発展演習			
3年次演習（国際社会）Ⅰ	2	必修	○
3年次演習（国際社会）Ⅱ	2	必修	○
4年次演習（国際社会）Ⅰ	2	必修	○
4年次演習（国際社会）Ⅱ	2	必修	○
日本語教育実習	4	選択	
卒業論文			
卒業論文	8	必修	○

ウ 経済経営学科

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
入門			
経済経営地域デザイン概論	2	必修	○
(経済学)			
ミクロ経済学入門	2	必修	○
マクロ経済学入門	2	必修	○
(経営学)			
経営学入門	2	必修	○
マーケティング入門	2	必修	○
(地域デザイン)			
公共政策論	2	必修	○
まちづくりとコミュニティ	2	必修	○
サステナビリティとグローバル共生	2	必修	○
基盤講義			
(経済学)			
初級ミクロ経済学	2	選択必修	
初級マクロ経済学	2	選択必修	

経済の数学	2	選択必修	
統計学	2	選択必修	
財政学	2	選択必修	
公共経済学	2	選択必修	
経済政策	2	選択必修	
(経営学)			
経営戦略論	2	選択必修	
経営組織論	2	選択必修	
会計学基礎	2	選択必修	
ファイナンス基礎	2	選択必修	
(地域デザイン)			
コミュニティと情報メディア	2	選択必修	
官民パートナーシップ	2	選択必修	
観光法制度論	2	選択必修	
発展講義			
(経済学)			
経済史	2	選択必修	
中級ミクロ経済学	2	選択必修	
中級マクロ経済学	2	選択必修	
日本経済論	2	選択必修	
国際経済学	2	選択必修	
開発経済学 I	2	選択必修	
計量経済学	2	選択必修	
環境経済学	2	選択必修	
労働経済学	2	選択必修	
金融論	2	選択必修	
産業組織論	2	選択必修	
ゲームの理論	2	選択必修	
企業の経済学	2	選択必修	
都市・地域経済学	2	選択必修	
ジェンダーの経済学	2	選択必修	
福祉の経済学	2	選択必修	
現代経済論	2	選択必修	
新興地域経済論	2	選択必修	
アジア地域経済論	2	選択必修	
国際地域経済論	2	選択必修	
日本経済史	2	選択必修	
保険論	2	選択必修	
証券論	2	選択必修	

(経営学)			
経営管理論	2	選択必修	
人的資源管理論	2	選択必修	
消費者行動論	2	選択必修	
ブランド論	2	選択必修	
流通論	2	選択必修	
組織行動論	2	選択必修	
リーダーシップ論	2	選択必修	
財務管理論	2	選択必修	
簿記論	2	選択必修	
財務会計	2	選択必修	
管理会計	2	選択必修	
監査論	2	選択必修	
国際経営	2	選択必修	
コーポレートガバナンス	2	選択必修	
イノベーションマネジメント	2	選択必修	
起業論	2	選択必修	
中小企業論	2	選択必修	
ソーシャルビジネス論	2	選択必修	
環境経営論	2	選択必修	
経営史	2	選択必修	
(地域デザイン)			
実践的研究計画法 (研究計画)	2	選択必修	
実践的研究計画法 (研究構想)	2	選択必修	
コミュニティ調査実習 (企画・立案・設計)	2	選択必修	
コミュニティ調査実習 (実査と分析)	2	選択必修	
地域政策とまちづくり	2	選択必修	
コミュニティとジェンダー	2	選択必修	
創造都市論	2	選択必修	
余暇ツーリズム論	2	選択必修	
ツーリズムとジェンダー	2	選択必修	
地域社会論	2	選択必修	
サステナビリティと地域社会	2	選択必修	
ソーシャル・キャピタル論	2	選択必修	
コミュニティデザイン論	2	選択必修	
地理学とジェンダー	2	選択必修	
インバウンド・ツーリズム論	2	選択必修	
持続可能な観光地域づくり	2	選択必修	
環境政策概論	2	選択必修	

世界遺産学A	2	選択必修	
世界遺産学B	2	選択必修	
都市フィールドワーク	2	選択必修	
(法律)			
経済法	2	選択必修	
企業法	2	選択必修	
労働法	2	選択必修	
行政と法	2	選択必修	
市民参加と法	2	選択必修	
(教職関連)			
人文地理学	2	選択	
自然地理学	2	選択	
地誌学	2	選択	
基盤演習			
基礎演習Ⅰ	2	必修	○
基礎演習Ⅱ	2	必修	○
2年次拠点実習Ⅰ	2	必修	○
2年次拠点実習Ⅱ	2	必修	○
発展演習			
3年次演習Ⅰ	2	必修	○
3年次演習Ⅱ	2	必修	○
4年次演習Ⅰ	2	必修	○
4年次演習Ⅱ	2	必修	○
卒業論文			
卒業論文	8	必修	○

エ 心理学科

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
入門			
心理学概論	2	必修	○
基盤講義			
発達心理学概論	2	必修	○
臨床心理学概論	2	必修	○
知覚・認知心理学概論	2	必修	○
社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）	2	必修	○
心理学統計法1	2	必修	○
心理学統計法2	2	必修	○

発展講義			
認知心理学			
思考心理学	2	選択必修	
知覚心理学	2	選択必修	
神経・生理心理学	2	選択必修	
認知心理学	2	選択必修	
学習・言語心理学	2	選択必修	
社会心理学			
社会心理学 (個人内過程)	2	選択必修	
社会心理学 (対人過程)	2	選択必修	
社会心理学 (マクロ・集団)	2	選択必修	
社会心理学 (応用)	2	選択必修	
発達心理学			
発達心理学 (情動発達)	2	選択必修	
発達心理学 (社会発達)	2	選択必修	
発達心理学 (認知発達)	2	選択必修	
教育・学校心理学	2	選択必修	
臨床心理学			
心理学的支援法	2	選択必修	
家族心理学	2	選択必修	
産業・組織心理学	2	選択必修	
健康・医療心理学	2	選択必修	
複合領域			
感情・人格心理学	2	選択	
障害者・障害児心理学	2	選択	
精神疾患とその治療	2	選択	
福祉心理学	2	選択	
司法・犯罪心理学	2	選択	
基盤演習			
1年次演習 (心理学)	2	必修	○
2年次演習 (心理学) A	2	必修	○
2年次演習 (心理学) B	2	必修	○
心理学実験入門 (心理学研究法Ⅰ)	2	必修	○
心理学基礎実習 (心理学研究法Ⅱ)	2	必修	○
発展演習			
3年次演習 (心理学)	2	必修	○
4年次演習 (心理学) A	2	必修	○
4年次演習 (心理学) B	2	必修	○
実験・実習			

心理的アセスメント	2	必修	○
心理学実験演習 I A	2	必修	○
心理学実験演習 I B	4	必修	○
心理学実験演習 II	2	必修	○
心理学特殊実験演習	4	必修	○
卒業論文			
卒業論文	8	必修	○
公認心理師特設科目			
公認心理師の職責	2	選択	
人体の構造と機能及び疾病	2	選択	
公認心理師に関する法律と制度（関係行政論）	2	選択	
心理演習	2	選択	
心理実習	4	選択	

オ 社会コミュニケーション学科

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
入門			
社会コミュニケーション概論	2	必修	○
基盤講義			
社会学のあゆみ I	2	選択必修	
社会学のあゆみ II	2	選択必修	
メディアコミュニケーション概論	2	選択必修	
情報デザイン概論	2	選択必修	
共生社会概論	2	選択必修	
社会調査法入門A	2	選択必修	
社会調査法入門B	2	選択必修	
発展講義			
学科共通			
社会データサイエンス入門	2	必修	○
質的研究法	2	選択必修	
社会コミュニケーション先端トピックA	2	選択必修	
社会コミュニケーション先端トピックB	2	選択必修	
社会学			
現代社会論	2	選択必修	
日本社会論	2	選択必修	
家族社会学	2	選択必修	

ケアの社会学	2	選択必修	
地域社会学	2	選択必修	
都市社会学	2	選択必修	
デモクラシーの社会学	2	選択必修	
シティズンシップの社会学	2	選択必修	
労働社会学	2	選択必修	
グローバル化と労働	2	選択必修	
ジェンダーとセクシュアリティの社会学	2	選択必修	
文化社会学	2	選択必修	
ライフコースの社会学	2	選択必修	
福祉社会学	2	選択必修	
臨床社会学	2	選択必修	
国際社会学	2	選択必修	
社会問題の社会学	2	選択必修	
情報社会論	2	選択必修	
メディア情報			
メディア史	2	選択必修	
メディア社会論	2	選択必修	
グローバルメディア	2	選択必修	
政治とメディア	2	選択必修	
ジャーナリズムと現代社会	2	選択必修	
リスクコミュニケーション	2	選択必修	
広告論	2	選択必修	
メディア文化論	2	選択必修	
ジェンダーとメディア	2	選択必修	
メディアとことば	2	選択必修	
ソーシャルメディアとコミュニティデザイン	2	選択必修	
ソーシャルメディアと現代社会	2	選択必修	
現代社会のサイバーセキュリティ	2	選択必修	
コミュニケーションとキャリア	2	選択必修	
デザイン思考Ⅰ	2	選択必修	
デザイン思考Ⅱ	2	選択必修	
デザイン心理A	2	選択必修	
デザイン心理B	2	選択必修	
ユーザ体験とユーザインターフェース	2	選択必修	
ユーザニーズ分析	2	選択必修	
ICTリテラシーA	2	選択必修	
ICTリテラシーB	2	選択必修	

マルチメディアと表現Ⅰ	2	選択必修	
マルチメディアと表現Ⅱ	2	選択必修	
Webでの情報表現	2	選択必修	
Media Literacy	2	選択必修	
メディアと経済	2	選択必修	
共生社会と人間			
共生社会と人間行動（ダイバーシティ）	2	選択必修	
共生社会と人間行動（インクルージョン）	2	選択必修	
共生社会と心理（マクロ：集団・社会）	2	選択必修	
共生社会と心理（ミクロ：個人・対人）	2	選択必修	
共生社会と心理(文化)	2	選択必修	
エイジングの心理学	2	選択必修	
子どもと社会	2	選択必修	
ダイバーシティとコミュニケーション	2	選択必修	
対人コミュニケーション（ジェンダー・セクシュアリティ）	2	選択必修	
対人コミュニケーション（家族・共同体）	2	選択必修	
対人コミュニケーション（公共社会）	2	選択必修	
基盤演習			
1年次演習（社会コミュニケーション）	2	必修	○
2年次演習（社会コミュニケーション）	2	必修	○
社会データサイエンスA	2	必修	○
社会データサイエンスB	2	選択必修	
社会コミュニケーション実習（実験法）	2	選択必修	
社会コミュニケーション実習（内容分析）	2	選択必修	
共生社会デザイン（ダイバーシティ）	2	選択	
共生社会デザイン（インクルージョン）	2	選択	
ユニバーサルデザインA	2	選択	
ユニバーサルデザインB	2	選択	
WebプログラミングⅠ	2	選択	
WebプログラミングⅡ	2	選択	
日本語データ分析Ⅰ	2	選択	
日本語データ分析Ⅱ	2	選択	
発展演習			
3年次演習（社会コミュニケーション）Ⅰ	2	必修	○
3年次演習（社会コミュニケーション）Ⅱ	2	必修	○
4年次演習（社会コミュニケーション）Ⅰ	2	必修	○
4年次演習（社会コミュニケーション）Ⅱ	2	必修	○
社会コミュニケーション実習Ⅰ	2	選択必修	

社会コミュニケーション実習Ⅱ	2	選択必修	
卒業論文			
卒業論文	8	必修	○

カ 情報数理科学科

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
情報数理科学：基礎			
微分積分学Ⅰ	2	必修	○
微分積分学Ⅱ	2	必修	○
線形代数学Ⅰ	2	必修	○
線形代数学Ⅱ	2	必修	○
数学演習Ⅰ	1	必修	○
数学演習Ⅱ	1	必修	○
集合と写像	2	必修	○
情報学概論	2	必修	○
CプログラミングⅠ	2	必修	○
情報数理科学：発展			
微分積分学Ⅲ	2	選択必修	
微分積分学Ⅳ	2	選択必修	
確率統計Ⅰ	2	選択必修	
確率統計Ⅱ	2	選択必修	
グラフ理論	2	選択必修	
現代数理科学Ⅰ	2	選択	
現代数理科学Ⅱ	2	選択	
確率特論A	2	選択	
確率特論B	2	選択	
統計特論A	2	選択	
統計特論B	2	選択	
情報科学			
CプログラミングⅡ	2	選択必修	
コンピュータアーキテクチャ	2	選択必修	
デジタル画像処理	2	選択必修	
データベース	2	選択必修	
コンピュータ化学Ⅰ	2	選択必修	
コンピュータ化学Ⅱ	2	選択必修	
数値計算	2	選択必修	
計算生物学	2	選択必修	

オペレーティングシステム	2	選択必修	
アルゴリズムとデータ構造	2	選択必修	
数理モデルとシミュレーションA	2	選択	
数理モデルとシミュレーションB	2	選択	
コンピュータネットワーク	2	選択	
オートマトン	2	選択	
コンピュータグラフィックス	2	選択	
ソフトウェア工学	2	選択	
AI・データサイエンス			
最適化の数理	2	選択必修	
機械学習	2	選択必修	
人工知能概論	2	選択必修	
統計モデリング	2	選択必修	
情報分析と可視化	2	選択必修	
時系列データ解析	2	選択	
深層学習	2	選択	
情報検索	2	選択	
画像データ解析	2	選択	
テキストデータ解析	2	選択	
数理科学			
解析学Ⅰ	2	選択必修	
代数学Ⅰ	2	選択必修	
代数学Ⅱ	2	選択必修	
位相数学Ⅰ	2	選択必修	
位相数学Ⅱ	2	選択必修	
化学概論	2	選択必修	
生物学概論	2	選択必修	
物理学概論	2	選択必修	
電磁気学	2	選択必修	
量子力学（基礎）	2	選択必修	
熱・統計力学	2	選択必修	
数理生物学	2	選択必修	
解析学Ⅱ	2	選択	
応用解析学A	2	選択	
応用解析学B	2	選択	
代数学Ⅲ	2	選択	
代数学特論	2	選択	
幾何学Ⅰ	2	選択	
幾何学Ⅱ	2	選択	

相対性理論	2	選択	
量子力学（発展）	2	選択	
物理化学	2	選択	
現代生物学A	2	選択	
現代生物学B	2	選択	
量子化学	2	選択	
基盤演習			
1年次演習	2	必修	○
講究			
情報数理科学講究1	4	必修	○
情報数理科学講究2	4	必修	○

(10) 教職課程科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
各教科の指導法			
英語科教育法ⅠA	2	選択必修	
英語科教育法ⅠB	2	選択必修	
英語科教育法ⅡA	2	選択必修	
英語科教育法ⅡB	2	選択必修	
宗教科教育法ⅠA	2	選択必修	
宗教科教育法ⅠB	2	選択必修	
宗教科教育法ⅡA	2	選択必修	
宗教科教育法ⅡB	2	選択必修	
国語科教育法ⅠA	2	選択必修	
国語科教育法ⅠB	2	選択必修	
国語科教育法ⅡA	2	選択必修	
国語科教育法ⅡB	2	選択必修	
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	2	選択必修	
社会・地理歴史科教育法Ⅱ	2	選択必修	
社会・公民科教育法Ⅰ	2	選択必修	
社会・公民科教育法Ⅱ	2	選択必修	
情報科教育法Ⅰ	2	選択必修	
情報科教育法Ⅱ	2	選択必修	
数学科教育法ⅠA	2	選択必修	
数学科教育法ⅠB	2	選択必修	
数学科教育法ⅡA	2	選択必修	
数学科教育法ⅡB	2	選択必修	
教育の基礎的理解に関する科目			
教育原論	2	必修	

教職論	2	必修	
教育社会学	2	必修	
教育心理学	2	必修	
特別支援教育	2	必修	
教育課程論	2	必修	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目			
道徳教育の理論と方法	2	必修	
総合的な学習（探求）の時間の指導法	2	必修	
特別活動論	2	必修	
生徒・進路指導論	2	必修	
教育相談	2	必修	
教育方法論（ICTの活用を含む）	2	必修	
教育実践に関する科目			
教育実習事前事後指導	1	必修	
教育実習	4	必修	
教職実践演習（中・高）	2	必修	

(11) 学芸員課程科目

授業科目	単位数	必修・選択必修・選択の別	主要授業科目
博物館概論	2	必修	
博物館資料論	2	必修	
博物館経営論	2	必修	
博物館資料保存論	2	必修	
博物館展示論	2	必修	
博物館教育論	2	必修	
生涯学習論	2	必修	
博物館情報・メディア論	2	必修	
博物館実習1	1	必修	
博物館実習2	1	必修	
博物館実習3	1	必修	

別表第1の2 削除

別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係）

(1) 入学検定料

費目	金額	備考
入学検定料	35,000円	
	15,000円	一般選抜（大学入学共通テスト3教科型） 一般選抜（大学入学共通テスト5科目型） 一般選抜 外国人留学生入学試験 外国人留学生対象 日本語学校指定校制推薦入学

注 入学検定料は次の併願割引を適用することができる。

- (1) 一般選抜（個別学力試験型）において2専攻又は3専攻を併願する場合、2専攻目からの検定料を10,000円とする。
- (2) 一般選抜（英語外部検定試験利用型）において2専攻以上併願する場合、2専攻目からの検定料を10,000円とする。
- (3) 一般選抜（個別学力試験型）と一般選抜（英語外部検定試験利用型）を併願する場合、一般選抜（個別学力試験型）の1専攻目の検定料を35,000円とし、一般選抜（英語外部検定試験利用型）の検定料は1専攻あたり10,000円とする。

(2) 入学金

費目	金額	備考
入学金	200,000円	
	100,000円	本学及び東京女子大学短期大学部に在籍していた者

(3) 学費

ア 2025年度以降入学者

（2025年度社会人編入学・社会人学士入学者及び 2025・2026年度一般編入学・一般学士入学者除く）

学科	学年	学費	
		授業料（年額）	教育充実費（年額）
人文学科 国際社会学科 経済経営学科 社会コミュニケーション学科	1	832,000円	298,000円
	2	838,000円	304,000円
	3	844,000円	310,000円
	4	850,000円	316,000円
心理学科	1	832,000円	328,000円
	2	838,000円	334,000円
	3	844,000円	340,000円
	4	850,000円	346,000円
情報数理科学科	1	897,000円	328,000円
	2	1,103,000円	334,000円
	3	1,109,000円	340,000円
	4	1,115,000円	346,000円

イ 2024年度1年次入学者、2024・2025年度社会人編入学・社会人学士入学者及び2024・2025・2026年度一般編入学・一般学士入学者

学科	学費	
	授業料 (年額)	教育充実費 (年額)
国際英語学科	786,000円	314,000円
人文学科、国際社会学科、 心理・コミュニケーション学科、数理科学科	786,000円	274,000円

ウ 2023年度以前入学者

学科	学費	
	授業料 (年額)	教育充実費 (年額)
国際英語学科	760,000円	314,000円
人文学科、国際社会学科、 心理・コミュニケーション学科、数理科学科、 人間科学科	760,000円	274,000円

(4) 在籍料

費 目	金 額
在 籍 料	140,000円

注 1学期間の休学に係る在籍料は年額の2分の1とする。